

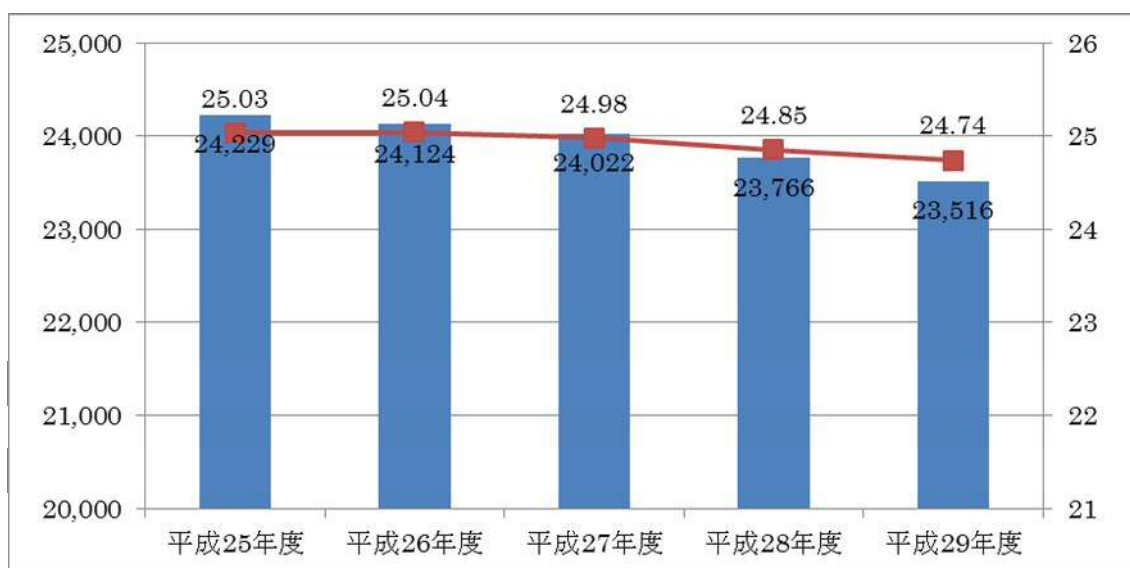
北九州市の生活保護の状況

1 保護の動向

雇用情政の緩やかな回復と集中的な就労自立支援の効果により、平成25年度以降、本市の保護人員は落ち着いた状態で推移しています。

ア 北九州市の生活保護世帯数・人員・保護率の推移（年度平均 単位：世帯・人・%）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
世帯数	18,423	18,528	18,630	18,586	18,552
人員	24,229	24,124	24,022	23,766	23,516
保護率	25.03	25.04	24.98	24.85	24.74



保護人員・保護率グラフ（年度平均）

2 保護世帯の状況

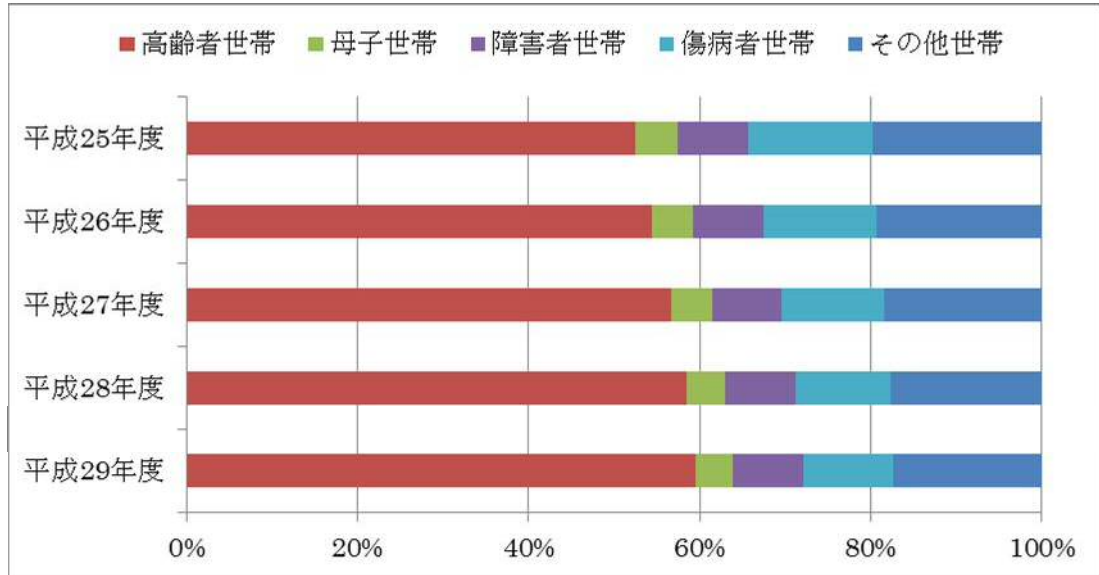
傷病者世帯の割合が減少する一方で、高齢者世帯の割合が年々増加しています。また、保護の開始理由は「世帯主の傷病」の割合が減少傾向で推移しています。

ア 世帯類型別生活保護世帯数（年度平均 単位：世帯）及び構成割合

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
高齢者世帯	9,624	10,039	10,516	10,840	10,997
	52.5%	54.4%	56.7%	58.5%	59.5%
母子世帯	894	879	864	828	797
	4.9%	4.8%	4.7%	4.5%	4.3%
障害者世帯	1,509	1,540	1,521	1,510	1,560
	8.2%	8.3%	8.2%	8.2%	8.4%
傷病者世帯	2,694	2,429	2,234	2,062	1,938

	14.7%	13.2%	12.0%	11.1%	10.5%
その他世帯	3,619	3,555	3,418	3,278	3,188
	19.7%	19.3%	18.4%	17.7%	17.3%

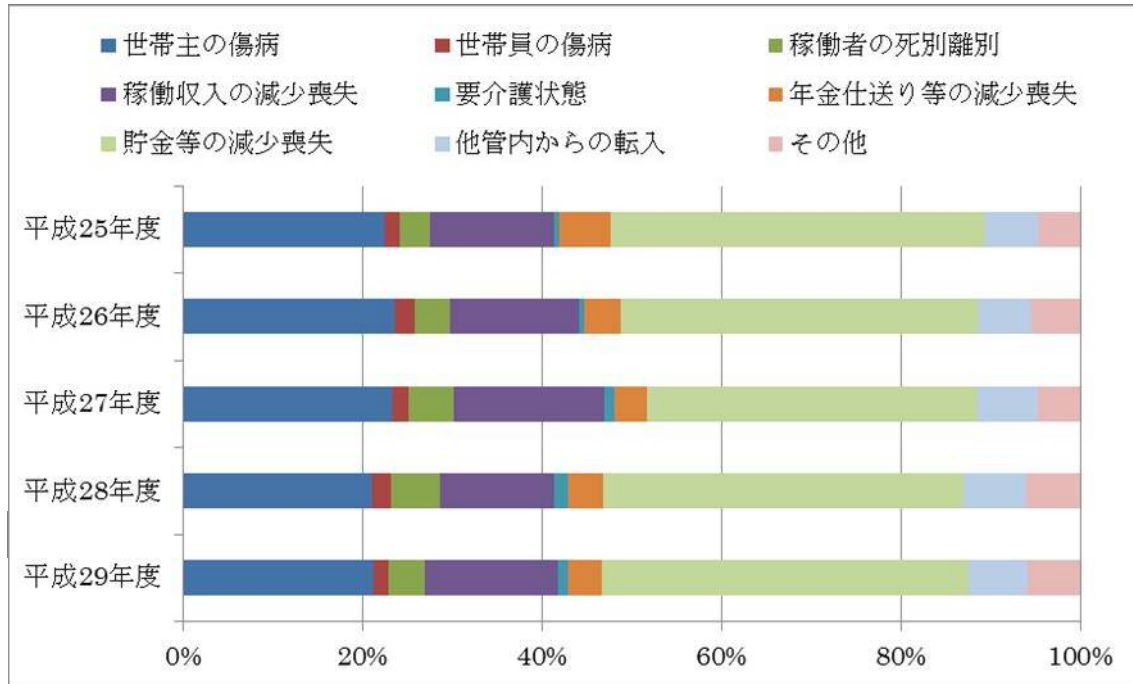
※停止世帯を除く



世帯類型別生活保護世帯構成比グラフ (年度平均)

イ 保護の開始理由の推移 (年度合計 単位：世帯)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
世帯主の傷病	481	488	476	413	400
世帯員の傷病	35	48	35	41	32
稼働者の死別 離別	71	80	103	106	75
稼働収入の減 少喪失	299	301	343	248	280
要介護状態	12	12	23	31	21
年金仕送り等 の減少喪失	120	83	75	77	72
貯金等の減少 喪失	894	828	748	784	769
他管内からの 転入	129	122	138	138	122
その他	98	113	97	118	112



保護の開始理由別構成費グラフ（年度合計）

3 生活保護費の動向

雇用情政の緩やかな回復と集中的な就労自立支援の効果により、平成24年度以降、本市の保護人員は落ち着いた状態で推移しており、平成26年度以降については生活保護費予算が減少しています。

ア 生活保護費予算額・決算額の推移

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	485.3 億円	468.9 億円	466.0 億円	465.1 億円	464.0 億円
決算額	454.8 億円	461.0 億円	457.3 億円	450.8 億円	448.0 億円

※平成29年度は決算見込額